

力あわせて



住める くらせる 東京に

都議予定候補 看護師・保健師・前北区議会議員

せいの 恵子

KEIKO SEINO

日本共産党

せいの 恵子 🔍

最新情報を
チェック!



せいの 恵子 プロフィール

- 滝野川第三小、滝野川中、都立向丘高卒
- 文京区役所勤務を経て和光大、都立看護専門学校に学び看護師に。都立豊島病院精神科勤務のち千葉大に編入学、保健師の資格を得る
- 民間病院等で勤務後、台東区役所入職。医療・介護・保育の現場で働く
- 区議2期。保護司としても活動。2024年に区議を辞して都議補選に出馬
- 家族は夫と2女。趣味は読書、歌うこと、手織り



区議2期5年
実現しました!

ヤングケアラー支援

大人の代わりに介護をする子ども。社会から見過ごされていた問題を、議会でいち早く提起し、支援が実現。

生理用品の無料配備

「生理の貧困」問題を最初に区議会で取り上げ、学校や区民施設への生理用品の無料配備につなげました。

医療・福祉のエキスパート 都政での活躍を期待

せいのさんは、医療・福祉のエキスパートとして区議1期目から大奮闘、自ら声を上げられない人たちの声を区政に届けて、支援の充実を実現してきました。今度は都政を舞台に、大活躍を期待しています。

都議会議員

そね はじめ



せいの恵子公式アカウント

LINE 友だち追加

QRコードを読み込むとLINEアプリから友だちに追加できます



新しい北区 2025年1月号外

発行/新しい北区社(北区中十条3-5-15)

日本共産党北地区委員会は新たな政策を発表しました。

このチラシに関するお問い合わせは、

電話 3906-2821 FAX 3906-3225

長引く物価高騰が、暮らしを直撃しています。

貧困や格差、生きづらさの中から寄せられる数々のご相談。区議として2期5年、

私は、いつでも身近な相談相手でありたいと、全力で活動してきました。

看護師・保健師として働いてきた経験から、生きづらさを抱える人たちには

人一倍心を寄せ、区議会では、精神障がい者やひきこもり、性的マイノリティなど、

声を上げにくい人たちへの支援拡充を求めてきました。

競争と分断の中で「自己責任」を押し付けるのではなく、

一人ひとりの多様な生き方をサポートする社会に変えるため、

私を都政の場で働かせてください。

せいの 恵子



くらし、福祉を支える政治へ

自民・公明・都民ファに支えられた小池都政は、お台場に26億円もかけて世界最大規模の噴水を作る計画を進めようとしています。そんなお金があるなら、くらし、福祉の充実にまわすべきではないでしょうか。

誰もが安心の医療・介護に

東京都は、私も働いていた都立病院の独立行政法人化を強行しました。コスト削減のために公的医療を後退させることに憤りを感じます。報酬が削減された訪問介護事業所は、厳しい経営状況に追い込まれ存続の危機に。私は誰もが安心して受けられる医療・介護サービスの実現に全力をつくします。



都営住宅の新規建設を

「何年も申し込んでいるが当たらない」など、北区でも都営住宅への入居を望む多くの声があるのに、東京都は26年間も都営住宅を一戸も増やさず、今後も2030年まで既存の空き住戸で対応するとしています。

私は都営住宅の新規建設を実現するとともに、住民追い出しにつながる大型再開発を見直し、誰もが住み続けられる東京をつくります。



若者が希望をもてる社会に

働く2人の娘はどちらも低賃金です。娘たちの友達は大半が奨学金を借りていて生活が厳しく、将来に夢や希望が持てないと話していると聞かされ、いつも胸が苦しくなります。私は学費ゼロなど高等教育の無償化、給付型奨学金の拡充、若年層への家賃補助を実現し、若者たちが希望をもてる社会をめざします。

